

(第三種郵便物認可)

派遣研修、プロジェクト発表

いわき生徒会長サミット開く

26年度いわき生徒会長サミット実践報告会が20日、市文化センターで開かれ、4月から8カ月間の取り組みを自分たちの言葉で伝え、成長した姿を保護者や先生たちに見せた。

いわき生徒会長サミットは、市内の全42中学校の生徒会長を対象に、研修や派遣事業などの活動を通して、リーダーとして活躍できる人材を育てようとして、23年度から毎年行われている。報告会は、4期生に当たる本年度のメンバーが4月から取り組んできた成果を伝えようというもので、週末ごとに集まるなどしながら、自分たちの手で1

パフォーマンスを交えながら活動内容を発表する生徒たち



つずつ準備を進め、この日を迎えた。

オープニングセレモ

生徒会長サミットの原点

君とジャヌ君

ともいえる長崎派遣研修や、韓国派遣研修、今年新たに始まったスイス派遣研修など7つの事業について発表した。

研修などでは、今のいわき、自分たちの活動などをプレゼンテーションしていることから、人前での発表はすっかりお手の

ものとなった生徒たち。寸劇などを交えながら、自分たちが感じたこと、学んだこと、今後それをどう生かすかなどの観点から話をした。

そのうち、長崎派遣研修の発表では、原爆の被害から復興を遂げた長崎に、いわきを重ねながら、「これからの復興を担う

のは自分たち」と決意を表明。原子力災害と向き合い、リーダーとしてま

質問に答えるロヌンド

2部では、本年度新たに始まったいわき志塾の取り組みや、震災での支援に恩返しし、復興に向けて歩む姿を発信しよう。と、タイの山岳地帯に学校建設を進めるための「ワンコインスクールプロジェクト」を紹介した。

同プロジェクトは今年で3年目を迎え、タイ・ファイコン村のファイコン中学校には校舎が完成した。同プロジェクトを進めるNPO法人アジア教育友好協会の招きで同校から2人の生徒が来日、報告会へ参加した。